

## 新型インフルエンザ情報（第4報）

1. 4日、ベルギー・インフルエンザ省庁官調整局は、ベルギーにおいて新たに発生した感染疑いの事例2件の検査結果がいずれも陰性であった旨のプレスリリースを概要発出しました。概要以下のとおりです。

(1) 4日、豚インフルエンザ（H1N1）に感染した疑いのある事例が新たに2件発生し、検査を行った結果、いずれも陰性であった。

(2) なお、上記2件のうち1件は、通常の季節性インフルエンザであることが判明している。

( ベルギーインフルエンザ HP <http://www.influenza.be/> )

2. 同省は、人口の3分の1に配賦可能なタミフル及びリレンザのストックがあり、その他に250万人分の粉末薬があるので、これを直ちに錠剤にすることが可能であると発表しています。

3. 5月5日現在、ヨーロッパでの感染確認国は、スペイン、イギリス、ドイツ、オーストリア、フランス、オランダ、スイス、デンマーク、アイルランド、イタリアに加えポルトガルと11カ国で確認されていますが、以上のプレスリリースのとおり現在のところベルギーでは感染の確認はありません。

4. 引き続き下記の点に留意し感染防止に努めてください。

(1) 十分な水・食料の備蓄を行い、不要不急の外出は控える。

(2) 外出する際は人混みを避ける。また、咳やくしゃみ等による感染を防ぐため、マスクを着用する。

(3) 積極的に手洗いやうがいを行う。

(4) ウイルスは粘膜を介して感染するので、うかつに目、鼻、口などの粘膜部分に手で触れない。

(5) 発熱や咳などインフルエンザと似た症状が見られた場合には、迷わず現地の医療機関（ベルギーの場合はホームドクター）の診療を受ける。

( 外務省 HP <<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>> <http://www.mofa.go.jp/mofaj/> )

( 外務省電話相談窓口：+81-3-5501-8000 内線4625、4627、4629 )

(厚生労働省 HP

<<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/index.html> )

5. 4月30日、WHOは新型インフルエンザ警報フェーズ（6段階）を、フェーズ4（ヒト-ヒト感染が増加している）からフェーズ5（かなりの数のヒト-ヒト感染がある）に引き上げました。

（ WHO（世界保健機構）HP <http://www.who.int/en/> ）

6. 大使館は全館体制で『緊急対策本部』を設置しています。今後とも関連情報をメールやHPを通じてお知らせします。皆様におかれましても、最新情報の入手にお勤め下さい。

（在ベルギー日本国大使館 HP <http://www.be.emb-japan.go.jp/japanese/>  
<<http://www.who.int/en/>> ）

<その他参考ホームページ>

在メキシコ日本国大使館 HP <http://www.mx.emb-japan.go.jp/index-jp.htm>

ベルギー外務省 HP <http://www.diplomatie.be/>

<犬猫に対する検疫制度について（狂犬病の発生がないと指定した国・地域とそれ以外の国・地域では手続きが異なります。ベルギーは指定地域ではありません。>

農林水産省 HP <http://www.maff.go.jp/aqs/animal/dog/import-index.html>